第６学年２組　総合的な学習の時間学習指導案

平成 29 年６月 16 日（金）第５校時

単元名：海田町の未来をえがこう

男子 18 名　女子 17 名　計 35 名

指導者　竹本　亮

単元について

○　本学級の児童は，第５学年の総合的な学習の時間「海田のお米，再発見！～われらお米アピール隊～」の学習で，アンケート結果を分析して課題を見付けたり，課題を解決するためにはどのような資料を選択したらよいのか整理したり，地域の人に直接，米のよさをアピールしたりする経験をしている。探究学習に対してとても意欲的で，農業をしている祖父に連絡を取って取材をするなど主体的に活動した児童もいた。その反面，学び方が分からず，活動を進めていくことが難しい児童もいた。友達と助言し合ったり協力して活動したりすることにより，意欲を持続させて学習することができた。しかし，友達の意見と自分の意見を比較することはできるが，そこから自分の考えを広げたり深めたりすることができにくい児童が多かった。

平成 28 年度「心の元気」アンケートにおいて，「自分が暮らす地域のことをもっと知りたいと思う」に対する学年の肯定的回答が 77%，「今住んでいる地域の行事に進んで参加しようと思う」に対する学年の肯定的回答が 82%と，身近な地域に対する興味・関心をもっている児童が多いという実態がある。

○　本単元は，夏に行われる海田町こども議会でよりよい町づくりについての提案をするため，身近なところから課題を見つけ，改善策を考えるものである。

まず，海田町の現状や住みよい町づくりに取り組む人々の思い，そして海田町に住む人々はどんな願いをもっているのかを調べる。子どもたちと同世代の意見のみならず，いろいろな世代や立場の人がどのような思いや願いをもっているのかを調査することで，自分たちが考えている「よりよい町とはどんな町か」という概念を広げ，深めることができるだろう。

また，「自分たちの町である海田町を自分たちの力でよりよい町にしていきたい」という思いのもと，より説得力のある提案が発信できるように調べたことを活用して改善策を考えることにより，課題を主体的に解説しようとする力や，収集した情報を関連付けて考える力，調査から得た複数の情報の中からより説得力のある情報を選択する力を育てることができると考える。さらに，単元を通して自分と海田町との関わりを意識する中で，地域社会の一員としての自覚をもち，自己の生活や生き方を見つめ，未来の主権者の一員として積極的に社会と関わろうとする態度を育んでいくことをねらいとしている。

○　課題の設定の場面では，児童自らの生活体験を想起して整理したり，住みよい町づくりに取り組む人々の思いを知ったりすることから，海田町や地域の人々に愛着の思いをもてるようにするとともに，自分自身も海田町のよりよい町づくりに貢献したいという意欲をもたせたい。そこから，もっとよりよい海田町にしたいという思いをもたせ，課題設定につなげていきたい。また，在校生や保護者や地域の人々を対象としたアンケートやインタビューで現状を調べるなどして，生活に根差した学習にするとともに，児童の自発的な活動を学習の原動力にし，主体的な活動が単元を通して継続されるよう

にする。

情報収集の場では，個人での探究学習の途中で，同じ課題をもっているグループで調べたことやそこから考えたことを伝え合ったり助言し合ったりすることで，自分の考えを広げたり深めたりしながら軌道修正をし，見通しをもって情報収集できるようにする。集めた情報を関連付けて考えたり，アイデアの有効性を根拠を明らかにして考えたりする力を付けていく。

振り返りでは，こども議会で提案する議題以外に自分たちで考えた町づくりの案について，自分たちでできる限り実現させていくという２学期の学習へ見通しをもたせていく。

単元の目標及び内容について

- みんなが幸せに暮らすことのできる海田町にするためにできることを見付け，主体的に課題解決しようとする態度を育てる。【主体性】
- 海田町の現状や課題，町づくりに関わっている人々について調べ，調べた情報を整理し，目的に応じて改善策を考えることができる。【思考力・判断力】
- 地域の一員としての自覚をもち，この学習を通して学んだことを，今後の生活に生かそうとすることができる。【自己理解】

単元の評価規準

主体性	思考力・判断力	自己理解
・自分たちの取組についてアイデアを出し，町づくりに参加しようとしている。 ・課題解決に必要な情報を集めようとしている。	・海田町の現状をふまえて，町づくりに関わっている人々の活動や思いを自分たちの取組に関連付けている。 ・町づくりのための取組について多面的に考えている。	・海田町に対する見方を広げたり，自分自身の成長に気付いたりしている。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・自分たちの取組について様々なアイデアを出し，主体的に町づくりに参加しようとしている。 ・多様な方法で課題解決に必要な情報を集めようとしている。	・自分たちの取組についてアイデアを出し，町づくりに参加しようとしている。 ・課題解決に必要な情報を集めようとしている。
【思考力】	・海田町の現状をふまえて，町づくりに関わっている人々の活動や思いなどの複数の情報を関連付け，自分たちの取組の根拠としている。 ・町づくりのための取組について，根拠となる事実や事例を挙げながら多面的に考えている。	・海田町の現状をふまえて，町づくりに関わっている人々の活動や思いを自分たちの取組に関連付けている。 ・町づくりのための取組について多面的に考えている。
【自己理解】	・町民として活動することの大切さや喜びを感じ，海田町に対する見方を広げたり自分自身の成長に気付いたりしている。	・海田町に対する見方を広げたり，自分自身の成長に気付いたりしている。

指導と評価の計画

全 24 時間

次	時	学習内容	評価				
			主	考	自	評価規準	評価方法
一	1	**課題の設定①　情報の収集①（２）** ○よりよい町づくりについて考える。 ・みんなが幸せに暮らせる町とはどのような町かを考える。 ・海田町をどのような町にしたいかを考える。 ・校内アンケートや保護者アンケートを行い，海田町への思いを知る。	○			・海田町をどのような町にしたいかを考え，今後の学習に向けての課題を意欲的に設定している。	発言 行動観察 ワークシート
	2	○学習の見通しを立てる。 ・こども議会に向けた学習計画を立て，学習で身に付けたい力について考える。	○			・ゴールの見通しをもち，付けたい力について主体的に考えて学習計画を立てている。	発言 行動観察 ワークシート
二	3・4	**整理・分析①（２）** ○情報を整理する。 ・アンケート結果を集計し，テーマごとに分類・整理する。		○		・共通点を見い出しながら，アンケート結果を分類・整理している。	発言 行動観察
	5・6	**情報の収集②（２）** ○テーマに沿ってプレゼンテーションに向けて必要な情報を収集する。 ・アンケートやインタビューを実施し，海田町への思いや願いとその理由をつかむ。 （場合によっては体験活動を仕組む）	○			・町づくりに関わっている人々の活動や思いを自分達のプレゼンテーションのテーマと関連付けながら，必要な情報を意欲的に収集している。	発言 行動観察
	7	**整理・分析②（１）** ○収集した情報を整理・分析する。 ・収集した情報について，説得力の有無の視点で座標軸を用いて整理する。　【本時】		○		・収集した情報を，説得力の有無の視点で整理している。	行動観察 ワークシート
	8	**情報の収集③（１）** ○前時でさらに必要と判断した情報を収集する。 ・プレゼンテーションに向けて前時でさらに必要だと判断した情報を収集する。	○			・プレゼンテーションに向けて必要な情報を，さらに収集している。	発言 行動観察
	9	**まとめ・創造・表現①（４）** ○第１回のプレゼンテーションに向けて準備をする。 ・整理した情報をもとに，プレゼンテーションに必要な資料や原稿などを準備する。		○		・町づくりのための取組と自分達のテーマについて具体的な事例と関連付けながら，多面的に考えている。	発言 行動観察
	10	○第１回のプレゼンテーションを行う。 ・テーマごとに提案したい案を理由とともに発表する。（ジグソー活動） ・よりよい提案に向けてアドバイスをする。		○		・自分達と友達のテーマを比較し，共通点や相違点を考え，よりよい提案についての具体を考えている。	発言 行動観察
	11	○第２回のプレゼンテーションに向けて準備をする。 ・アドバイスをもとに，よりよいプレゼンテーションに向けて準備をする。		○		・町づくりのための取組と自分達のテーマについて友達のアドバイスをもとに，より具体的に考えている。	発言 行動観察

	12	○第２回のプレゼンテーションを行う。 ・テーマごとに提案したい事案を理由とともに発表する。		○		・提案したい理由を明確にしながら，よりよい提案についての具体を考えている。	発言 行動観察
三	13 ・ 14	**課題の設定③（２）** ○こども議会で提案する案を選択する。 ・前時に出た課題の中から，こども議会で提案する事案を実現性・必要性の視点をもって選ぶ。	○			・こども議会で提案する事案を実現性・必要性の視点をもって選んでいる。	発言 行動観察
	15 ・ 16 ・ 17	**情報の収集④（３）** ○より説得力のある提案をするために必要な情報を収集する。 （例）・アンケートを取り，身近な人の意見を収集する。 ・インターネットや図書資料から情報を収集する。 ・取組に関わる人にインタビューを行い，情報を収集する。　　など	○			・こども議会での提案に向けて必要な情報を，さらに収集している。	発言 行動観察
	18 ・ 19	**整理・分析③（２）** ○収集した情報を整理する。 ・収集した情報を学級で整理・分析し，必要な情報のみを選択する。		○		・収集した情報を，説得力の有無で整理している。	発言 行動観察 ワークシート
	20 ・ 21	**まとめ・創造・表現②（４）** ○こども議会での提案に向けて，収集した情報をまとめる。 ・より説得力のある提案になるよう，収集した情報を伝える方法を考える。 ・学級で分担し，こども議会に向けて必要なデータをまとめる。		○		・自分たちの思いと収集した情報を関連付けながら，より説得力のある提案になるよう，発表内容を多面的に考えている。	発言 行動観察
	22 ・ 23	○取組を提案し，今後の活動にふさわしいものを学級で選択する。 ・今後活動していきたい取組について，収集，整理した情報を活用して提案する。 ・他の提案を聞き，学級として今後取り組む活動としてふさわしいものを有効性・実現性の視点で選択する。		○		・今後自分たちで活動する取組について考え，有効性や実現性の視点で選択している。	発言 行動観察
四	24	**振り返り（１）** 学びのモニタリング ○単元を振り返り，成果を分析し，自らの学びや学び方を振り返る。 ・単元の学習をもとに，町づくりのために大事なことは何かを振り返り，今後の生活の中で大切にしていきたいことをまとめる。 ・学習の初めに立てた計画をもとに，自らの学びの成果を振り返る。			○	・地域の一員としての自覚をもち，海田町に対する見方や考え方を広げ，今後の生活に生かそうとしている。	発言 行動観察
		○こども議会で海田町をよりよくする取組を提案する。 ・学級で選んだ取組について，代表の児童がこども議会において提案する。					

本時の学習

（１）本時の目標

○　収集した情報を，説得力の有無の視点で整理することができる。

（２）本時の評価規準

○　収集した情報を，説得力の有無の視点で整理している。【思考力】

（３）本時の学習展開（７時間目／全 24 時間）

学習活動 〇主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 （評価方法） ◎本時で付けたい力
１　プレゼンテーションについての情報を共有する。	◇　時間（４分），目的（こども議会に提案する案を決めるため），を確認する。	
２　学習のねらいを確認し，本時の流れをつかむ。 ○　どのようなプレゼンを目指しますか。 ・説得力のあるプレゼン ○　説得力のあるプレゼンとはどのような提案をすることですか。 ・数字があって分かりやすい提案。 ・他のグループにも必要だと思ってもらえる提案。 ○　よいプレゼンのためにどのような準備が必要でしょう。 ・グループで調べたことを出し合って整理する。 ・発表する情報に順番を付ける。 ・アドバイスをし合う。	◇　こども議会で提案する案に選ばれるためのプレゼンテーションに向けて，情報を整理することを確認する。 ◇　児童の発言により本時の学習計画を組み立てていく。	

めあて

説得力のあるプレゼンに向けて情報を整理しよう。

本時のゴールの見通し（評価規準）

Ａ：複数の情報を関連付けたり，取捨選択したりして整理している。
Ｂ：情報を説得力の有無で整理している。

3　グループで情報を共有し，整理する。 □思考の場の工夫　理由付け 収集した情報を，説得力の有無と根拠を明確にさせて取捨選択させ整理する。	◇　類似している情報を統一したり，新たな案を考えたりさせる。 ◇　説得力があるかという視点で情報を整理させる。 ◇　根拠を明確にしながら整理させる。	◎収集した情報を，説得力の有無の視点で整理している。〔思考力〕(行動観察，ワークシート)
4　情報を取捨選択し，プレゼン計画を立てる。	◇　整理した情報について，プレゼンで発表する順番を考えさせる。 ◇　さらに必要な情報について考えさせる。	
5　プレゼン計画を交流する。 ○　どんな声をかけるとよりよいプレゼンにつながるでしょう。 ・　良い所をほめる。 ・　悪い所を指摘する。 ・　反対意見を言う。	◇　グループで一人がグループの中でプレゼンの概要を発表し，反論を交流させる。 ◇　もらった反論をもとに，プレゼン計画を見直させる。	
6　本時を振り返り，次時につなげる。		

★めざす児童の姿
A　(Bに加えて) ○○君が・・・と言っていたので次は◇◇についてもっと調べたい。
B　自分たちで集めた情報を，説得力があるかという視点で整理することができた。

（4）板書計画

海田町の未来をえがこう

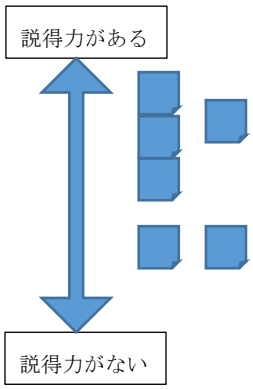
め　説得力のあるプレゼンに向けて情報を整理しよう。

・分かりやすい　→　数字（○%，○人）
・必要性がある　→　・アンケート結果
・インタビュー返答
・理由（今は～，たくさんの人に～）

A
つなげる
必要・不要

B

今日の学習
① グループで整理する
② 順番をつける
③ アドバイスをする



〈参考〉学びのモニタリング

６年　　組　　番（　　）

自分から取り組む力

・よりよい街づくりの実現ために，情報を集めたり，アイデアを出したりして，意欲的に学習に取り組んだ。

（　とてもよくできた　　よくできた　　あまりできなかった　　できなかった　）

〈理由〉

深く考える力

・友達と自分の，調べたことや思いについて比べて類似点や相違点を見付け，整理した。

・よりよい街づくりについて，課題と情報とを関連付け，根拠を明らかにして考えた。

（　とてもよくできた　　よくできた　　あまりできなかった　　できなかった　）

〈理由〉

自分をふり返ろう

・「自分と海田町との関わり」や「地域の一員としての自分」について考えたこと，そして，単元を通しての学び方についてふり返りましょう。

○自分が成長したことや次の目標